

中新川広域行政事務組合下水道使用料等検討委員会の開催報告について

中新川広域行政事務組合下水道使用料等検討委員会

2018年（平成30年）12月6日から行われていた中新川広域行政事務組合下水道使用料等検討委員会は、2019年（平成31年）1月15日の第2回の検討委員会をもって終了し、2019年（平成31年）1月21日に委員会の会長から管理者へ報告書が手渡されました。

中新川広域行政事務組合下水道使用料等検討委員会による報告書

中新川広域行政事務組合では2005年（平成17年）に改定を行って以来、13年間にわたり下水道使用料の改定が行われておらず、経費の不足分は一般会計からの繰入（構成団体負担金）として賄われています。下水道の整備が進み、使用料収入が増え続けてきましたが、今後の人口減少を踏まえると使用料収入は減少し始めるものと考えられます。また、設備の老朽化に伴う更新投資の増大も見込まれていることから、下水道事業の経営環境は極めて厳しい状況に直面しています。下水道サービスの持続的な提供を行うためには、使用料収入に基づく健全な経営確立を図る必要があります。下水道使用料の見直しを検討するために中新川広域行政事務組合下水道使用料等検討委員会を設置し、全2回の委員会を行い、委員の皆さまからさまざまな御意見、御提案をいただきました。

これらの意見を集約してまとめられた報告書は2019年（平成31年）1月21日に会長から管理者へ手渡されました。



（左から金森勝雄管理者、水上雄二会長）

報告書

[平成30年度 下水道使用料等検討委員会報告書\(PDF\)](#)

委員会日程と議事内容

委員会の議事録については、下記から閲覧することができます。

第1回	2018年（平成30年）12月6日	委嘱状の交付 会長・副会長の選任 下水道使用料改定の必要性について 第1回議事録(PDF)
第2回	2019年（平成31年）1月15日	議事録の確認 質疑に対する補足説明 下水道使用料改定に関する採決 第2回議事録(PDF)